



2024年10月28日

各 位

会社名 日本興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 山口 芳美
(コード:5279 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 総務人事部
広報・IR室長兼総務担当部長 朝井 正哉
(TEL. 087-894-8130)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2024年7月26日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

- 記 -

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,000	百万円 55	百万円 70	百万円 35	円 銭 12.09
実績値(B)	5,670	△ 89	△ 60	△ 63	△ 21.89
増減額(B-A)	△ 329	△ 144	△ 130	△ 98	
増減率(%)	△ 5.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期(中間期)実績(2024年3月期)	5,920	56	81	32	11.30

2. 差異が生じた理由

2025年3月期第2四半期(中間期)につきまして、売上高は、受注済の大型物件工事において中断や遅延が生じたほか、前年度の業績に寄与した連結子会社の苦戦などにより、予想数値を下回りました。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、減収の影響に加え、原材料価格や輸送コスト高騰の影響が一部残ったほか、エンゲージメント向上を中心とした人的資本への投資を強化したことなどにより、それぞれ損失計上となりました。

なお、第3四半期以降は、中断・遅延していた受注済の大型物件工事の進捗に伴い当社製品の生産・出荷の増加が見込まれるとともに、港湾事業や大型造成事業など新たな事業領域での受注獲得が目下進展中であり、連結子会社の葉月工業株式会社の業績も受注増に伴い好調に転じているほか、一部遅延の見られた原材料価格や輸送コスト上昇分の販売価格への転嫁も進むなどの理由により、中間期の苦戦を売上・利益の両面で挽回できる見通しであることから、通期見通しにつきましては、現時点において2024年7月26日公表の予想値より変更はありません。

以 上